

書道筆の種類

①太さによる区分

表 I

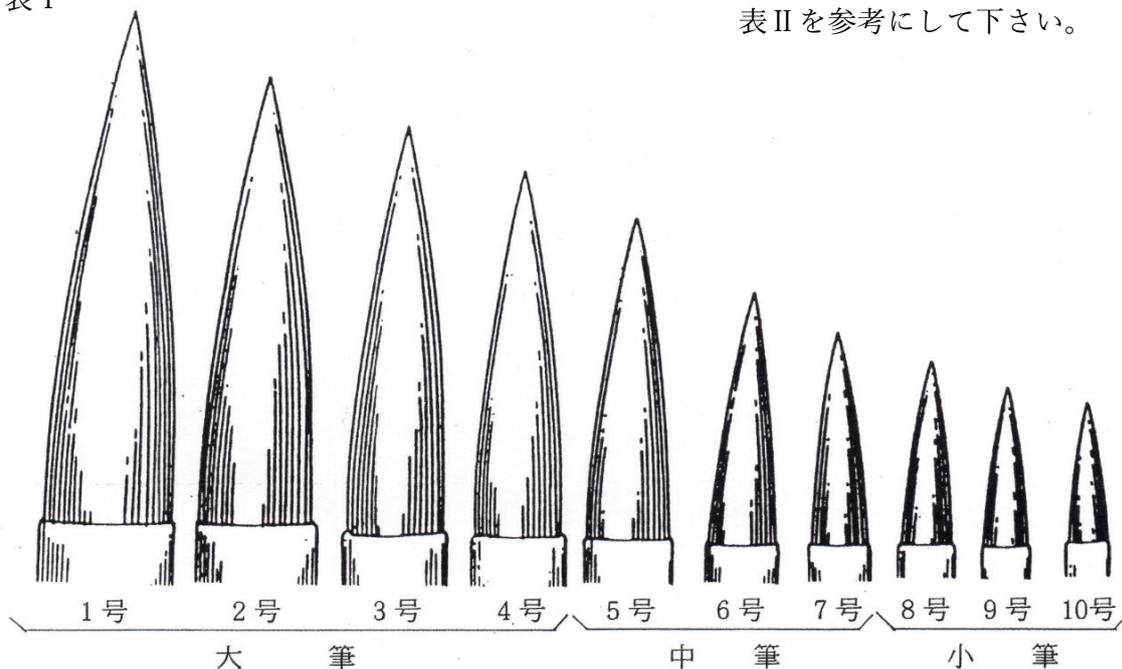


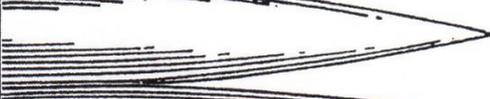
表 II

号数	軸直径	穂直径	適性
特大筆	16.5mm (5分5厘) 以上	15mm以上	条幅用
大筆	1号 15.0mm (5分)	13mm	半紙 1 字書 半切2行程度
	2号 14.5mm (4分8厘)	12mm	
	3号 13.0mm (4分2厘)	11mm	
	4号 11.0mm (3分6厘)	9mm	
中筆	5号 10.0mm (3分2厘)	8mm	〃 6~8 〃 仮名条幅
	6号 8.5mm (2分8厘)	7mm	〃 8~12 〃 〃
	7号 7.6mm (2分5厘)	6mm	〃 20 中字仮名
小筆	8号 6.7mm (2分2厘)	5.5mm	一般書簡用 仮名 細字
	9号 6.0mm (2分)	5mm	〃 〃 〃
	10号 5.5mm (1分7厘)	4.5mm	〃 〃 〃
面相	真書		〃 〃
点付	〃		〃 〃

※号数の規格は、メーカーにより多少の差があります。

②長さによる区分

表Ⅲ

短々鋒	穂の太みの 3 倍以下	
短 鋒	” 4 倍位	
中 鋒	” 5 倍位	
長 鋒	” 6 倍位	
長々鋒	” 7 倍以上	

③剛柔による区分（当社製品の区分）

	剛	毫	— 8剛2軟以上で茶色や黒色のかたい筆です。	
	兼	剛	— 6剛4軟程度で茶色の筆です。	
	イ	タ	チ	— 5剛5軟程度でイタチ毛を使用した筆です。
	兼	毛	— 4剛6軟程度で白っぽい筆です。	
	兼	白	— 3剛7軟程度の白い筆です。	
	純白（羊毛）	— 羊毛製品でやや腰が強めです。		
	羊	毛	— 厳選された羊毛を使い、精製された上質の羊毛筆で軟毛です。	

※尚、近年筆も多種多様化し、色々な形、サイズ、調子を求められますので、筆の剛軟は商品により多少違いがあります。

④用途による区分（表Ⅱを参考にして下さい）

半紙	1 字書用	——	1 号	程度を使用
”	2 字書用	——	2 号	”
”	3～4 字書用	——	3 号	”
”	5～6 字書用	——	4 号	”
”	6～8 字書用	——	5 号	”
”	6～20 字書用	——	6～7 号	”

条幅半切 1 行書用 —— 半切判に4～5文字書程度の 1 行書に使用します
(全紙 2 行書)

条幅半切 2 行書用 —— 半切判に12～16文字書程度の 2 行書に使用します

その他の条幅用 —— 主に条幅書用に使用されるもので作品（全紙、連落2尺×8尺など）
により多種多様になります

名前書き用 —— 学童が半紙など、名前を書くときに使用します

一般書簡用 —— 手紙、はがき（年賀状）、のし、水引などに広く使用します

写経用 —— 般若心経などの写経、又は漢字書に使用します

仮名用 —— 平安（上代）かななどの古典臨書、作品用に使用します（細字可）

仮名条幅用 —— 大字かなの条幅練習、作品用に使用します。

和紙の特徴 ～和紙と洋紙の違い～

針葉樹や広葉樹をすり潰したものを原料とした「洋紙」と比べ、楮、雁皮、三桮のような植物の内皮を原料とした和紙は、比較的長い繊維を絡ませて紙にする為、薄くても丈夫になります。古来からの伝統的な製法では、製造工程で加熱や化学処理をほとんど施されず、中性で、繊維の変質が抑えられるので、長期にわたって保存できるのも和紙の特徴です。ユネスコ文化遺産登録された、石州半紙（島根県）、本美濃紙（岐阜県）、細川紙（埼玉県）は古来からの伝統的な製法が認められたものです。

和紙は古来からの製法で、非木材原料や草原料を使用する製品が多かったが、現在では原料の入手困難と高額化、原料加工の手間の省略の為、輸入パルプを多く混入して製造しています。

パルプとは製紙原料用に処理したものの総称で、前記の原料のパルプのほか藁パルプ、龍須草パルプ、マニラ麻パルプ（アバカパルプ、フィリピンパルプ）、故紙パルプ等を使用しています。書道用紙の多くは前記のような原料を混合して製造しています。

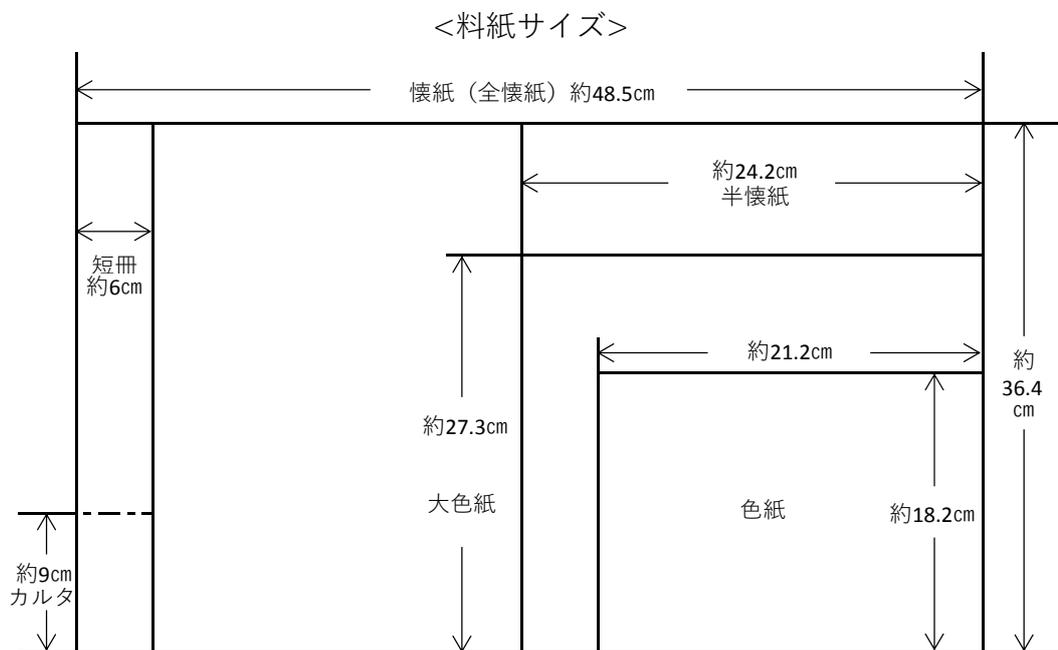
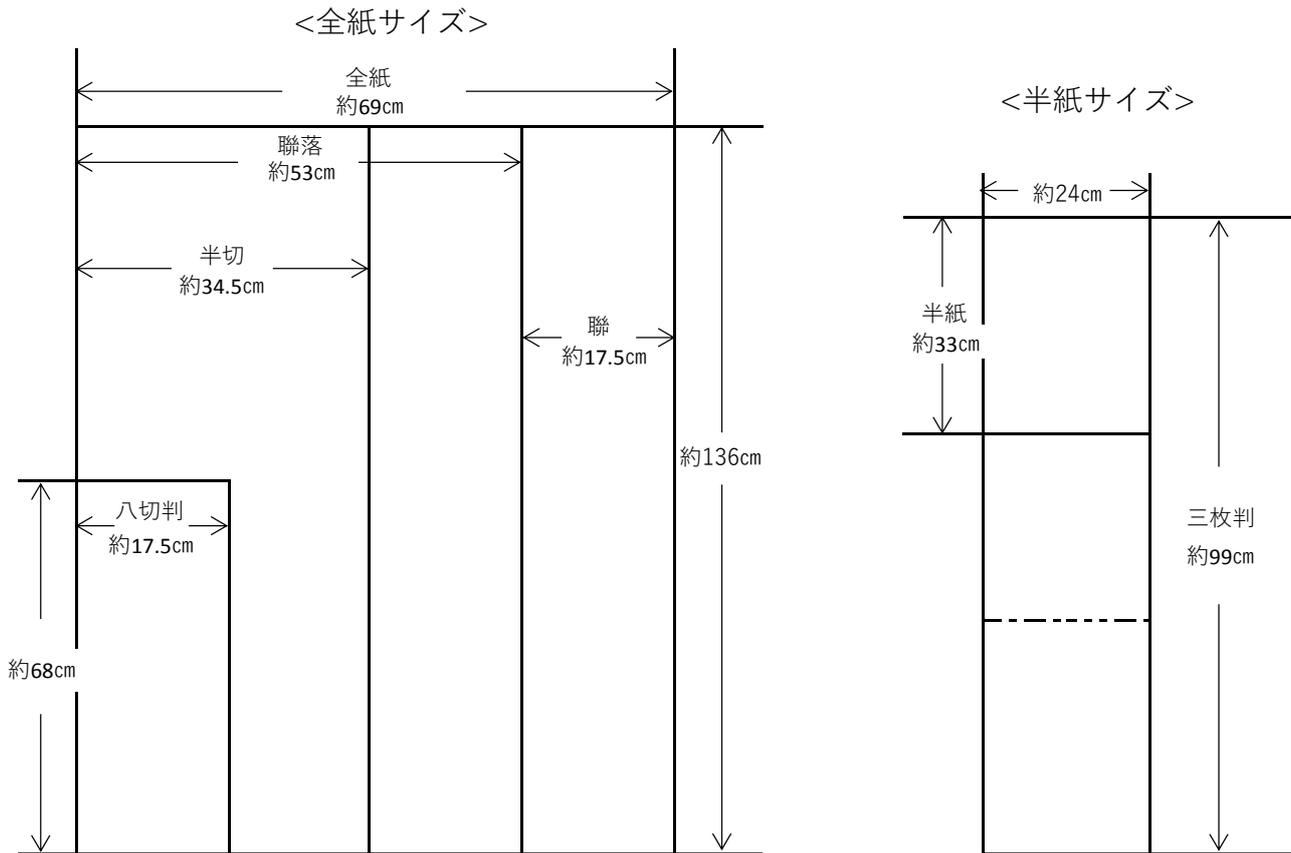
また、原料に関わらず同質の紙であれば、厚く製造することで墨の吸い良くニジミ弱く、薄く製造することで、墨の吸い込み悪くニジミ強くなります。

	洋紙	和紙
原料	広葉樹、針葉樹の木材そのものの繊維（木材パルプ）	楮、雁皮、三桮などの表皮の内側の繊維（強靱繊維）
繊維	和紙と比較すると細く短い	太くて長い
強度	やや弱い	強い
重さ 厚さ	和紙と同じ厚さの紙では重い 重い割に薄い	洋紙と同じ厚さの紙では軽い 軽い割に厚い
性質	紙面が総体的に硬い、緊密に作られる ニジミ、墨引きが少ない	紙面が総体的に柔らかい 隙間ができる ニジミ、墨引きがある
生産性	機械で大量生産できる	原料に制約があり、 工程も大量生産に向かない

《原料について》

- 楮 【コウゾ】 ---- 桑科の落葉低木樹。
繊維が長く、お互いから見合う性質があるため、薄くても丈夫な紙となる。
- 雁皮 【ガンピ】 ---- ジンチョウゲ科の落葉低木樹。人工栽培は難しいため、入手困難。
やや半透明の光沢があり、虫害の少ない紙となる。
- 三桮 【ミツマタ】 ---- ジンチョウゲ科の落葉低木樹。繊維は楮ほど長くはないが、細やかな細工や文字を書く紙、印刷の紙として適す。日本の紙幣原料。
- 藁 【ワラ】 ---- イネ科の植物の茎。稲や麦の茎を使用。
繊維は短く細かい。吸水性が良いが、量を多くしすぎると、繊維感が緊密になる為、吸水性は落ちる。藁半紙など、かつては洋紙としても使われていた。
- 竹 【タケ】 ---- イネ科の植物。繊維は短く破れやすいが、柔らかく墨引き良く、古くから書や水墨画用の紙の原料として使われている。
- 龍須草【リュウスソ】 ---- イネ科の植物。主に中国で取れる。
日本の藁とほぼ同じような性質。
- マニラ麻【マニラア】 ---- バショウ科の植物。フィリピン原産。日本の麻のような繊維質をもつ為、麻と呼ばれる。繊維が比較的長く強い。
古くから紙の原料として輸入されている。紙幣や封筒などにも使われる。
- 故紙【コシ】 ---- 一度紙製品になった原料を再度パルプに戻したもの。

紙のサイズ



※紙のサイズは種類によって、多少違うことがあります。

紙のサイズ表

	品 名	タテ (cm)	ヨコ (cm)
全紙サイズ	全紙	136	68
	聯落	136	51
	半切	136	34
	聯落	136	17
	八切版	68	17
半紙サイズ	三枚判	99	24
	半紙	33	24
料紙サイズ	懐紙 (全懐紙)	36.4	48.5
	半懐紙	36.4	24.2
	大色紙	27.3	24.2
	色紙	18.2	212.2
	短冊	36.4	6
	カルタ	9	6

※弊社の書道用紙（半紙、画仙紙）は、書道塾の先生方と研究を重ね、各地の紙漉職人さんと技術提供し作り上げました。

(株) やまき筆菊壽堂